

令和6年度 第1回印西市健康づくり推進協議会 会議録

1. 開催日時 令和6年5月23日（木） 午後2時から
2. 開催場所 印西市役所 別館 農業委員会会議室
3. 出席委員 岩谷委員、堀江委員、石橋委員、井ノ口委員、萬谷委員、及川委員
高橋委員、渡辺委員、鈴木委員、東本委員、安松委員
4. 欠席委員 河北委員、秋本委員、本間委員
5. 事務局 田口部長、金森健康増進課長、木村係長、斎藤係長、川村係長、坂本子ども家庭課長、小野田係長、酒井係長、海老原主任歯科衛生士、日野原主任保健師、星野栄養士、秦主任主事
6. 傍聴者 1名
7. 議 事 議題
(1) 議案第1号
令和5年度印西市健康づくり推進協議会事業報告について
(2) 議案第2号
令和6年度印西市健康づくり推進協議会事業計画（案）について
(3) 議案第3号
第3次健康いんざい21の骨子案について
報告
(1) 令和5年度保健事業実績及び令和6年度保健事業計画（令和6年度保健業務運営指針）について
(2) 第2次健康いんざい21指標の成果報告について
(3) 市民アンケートの報告について

8. 議 事 録 (要点)

議題 (1) 議案第1号 令和5年度印西市健康づくり推進協議会事業報告について

(事務局)： 「議案第1号 令和5年度印西市健康づくり推進協議会事業報告」資料に基づき説明。

(議 長)： 委員のみなさんからご質問はありますか。

(議 長)： ご質問がないようですので、採決を行いたいと思います。議案第1号、令和5年度印西市健康づくり推進協議会事業報告についてご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

【全員挙手】

(議 長)： 全員挙手をいただきましたので、議案第1号は承認されました。

議題（２）議案第２号 令和６年度印西市健康づくり推進協議会事業計画（案）について

（事務局）： 「議案第２号 令和６年度印西市健康づくり推進協議会事業計画（案）」資料に基づき説明。

（議長）： 委員のみなさんからご質問はありますか。

ご質問がないようですので、採決を行いたいと思います。議案第２号、令和６年度印西市健康づくり推進協議会事業計画（案）についてご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

【全員挙手】

（議長）： 全員挙手をいただきましたので、議案第２号は承認されました。

議題（３）議案第３号 第３次健康いんざい２１の骨子案について

（事務局）： 「第３次健康いんざい２１骨子案」資料に基づき説明。

（議長）： 委員のみなさんからご質問はありますか。

ご質問がないようですので、採決を行いたいと思います。議案第３号、第３次健康いんざい２１の骨子案についてご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

【全員挙手】

（議長）： 全員挙手をいただきましたので、議案第３号は承認されました。

報告（１）令和５年度保健事業実績及び令和６年度保健事業計画（令和６年度保健業務運営指針）について

（事務局）： 「令和５年度保健事業実績報告」及び「令和６年度保健事業計画（令和６年度保健業務運営指針）」資料に基づき説明。

（議長）： 委員のみなさんからご質問はありますか。

質問がないようですので、次の報告に移ります。

報告（２）第２次健康いんざい２１指標の成果報告について

（事務局）： 「第２次健康いんざい２１指標の成果報告」資料に基づき説明。

（議長）： 委員のみなさんからご質問はありますか。

質問がないようですので、次の報告に移ります。

報告（３）市民アンケートの報告について

（事務局）： 「市民アンケート調査結果報告書」資料に基づき説明。

続けて、事前に質問があったものについての説明、回答

《第３次健康いんざい２１の骨子案に対する質問》

- ①（質問）健康と食育に関する調査の中間３世代の回収率の低さが気になった。回収率を上げる活動はあったのか。もしくは、この程度の回収数を予想したうえでの配布数であったのか。また、この回収数は、その年齢層全体の人数に対する割合はどの程度であったか。

（回答）今回、回収率の低かった小中学生の調査について、教職員の事務作業軽減化の一環として、「スクリレ」というウェブ配信サービスを使用した形での調査となっており、前回に比べると回収数が少なくなっていることが一つ要因としてあげられる。回収率を上げる取り組みとしては、締め切り期日に近くなった際に回収数が少なかったため、この配信サービスの他にメールでも再度配信を行い、調査期間を延長した。

回収数の予測については、他市の同様健康増進等に係るアンケート調査の回収率を見たところ、30～40%程度であったことから、今回のアンケート調査の回収率も同程度だと見込んだ。

また、全体の人数に対しての回収数については、令和５年度に６歳となる年齢の市内の人口が1,393人に対して回収数393、小学校５年生の人口1,196人に対して回収数460、中学２年生の5,100人に対して回収数333、15歳から64歳の人口63,108人に対して回収数623、65歳以上の人口25,050人に対して529で、全体の人数に対する回収数については課題があるが、いずれも300という回収数を超えていて、調査結果としては成立しているものと考えている。この市民アンケートの結果や条件については、今後の事業の立案や実施について参考にした。

- ②（質問）印西市にデータセンターからの固定資産税収が十数億見込まれると聞いているが、その税収が今後健康づくりの取り組みにも活かされるのか。

（回答）固定資産税については、一般財源として取り扱うもののため、市の様々な事業に充てられることを考えると、健康づくりの取り組みにも活かされると考えている。

《令和６年度 保健業務運営指針に対する質問》

- ①（質問）健康づくり相談に関して、相談を受けた後、その相談者が改善しているのか、その後疑問を持っていないかといったフォロー体制はあるか、また、あるとするならばどの程度フォローしているのか。

(回答) 健康づくり相談について、相談内容により継続支援が必要と判断した方に対しては、相談担当より電話確認を行っている。終了と判断した方についても、いつでも相談できる旨をお伝えし、相談しやすい環境づくりを心がけている。

- ② (質問) 健康講演会について、予定では年1回の開催となっているが、回数を増やすことは可能か。また、イオンモールなど市民が行きやすい場所での開催についてはいかがか。

(回答) 市で実施している健康診査、がん検診などとスケジュール調整して年1回の調整を行っている。回数を増やすのは難しいのが現状であるが、今年度はイオンモールでの開催を予定している。また、諸意見を踏まえ、今年度は期間限定でネット配信を検討しているので、参加できなかった方はそちらを見ることも可能である。

- ③ (質問) 健康づくりサポーターについて、「健康づくりサポーターカード」とはどのようなものか。簡単な健康づくりに関するヒントや解説がまとめられていて、それを活用することで、健康のヒントを身近な人に伝えられるようなツールになっているのか。また、その地域活動については、サポーター個々人に任されているのか、市の担当者が活動を把握しフォローする体制になっているなど、どのような体制で行われているのか。より多くの市民に健康について伝えることを目的にするのであれば、市としてもある程度その活動を把握しておいたほうが、効率的な活動に結び付くのではないか。

(回答) このカードは健康講座などを受講した方に学んだ健康のヒントを身近な人や地域の人に伝えていただく目的でお渡ししており、その役割を認識していただくためのものである。カードに健康のヒントなどの特段の記載はしていない。なお、活動は個々人に任せているが、何かご不明点等あれば、気軽にご相談いただけるよう中央保健センターの連絡先を記載している。

- ④ (質問) AED の設置促進について、設置していてもその施設に使用できる人がいないと意味がないので、AED を操作できる人を増やすような取り組みは行っているか。

(回答) 操作講習を含む救命講習については、印西地区消防地区消防組合にて実施しており、毎年多くの方が受講されていると聞いている。

- ⑤ (質問) 重点目標に、思春期保健への取り組みがあるが、印西市においてそれについての課題があったから重点目標として取り組んでいるのか。

(回答) 思春期保健について、ここ 10～20 年の間に全国的に言われていることで、ゲームなどのリプレイ機能の影響により、命への感覚が希薄になっていることが課題として挙げられる。また、若年齢の望まない妊娠の報告が市内でも度々上がってきている状況であることも課題の一つである。これらの状況を踏まえ、「生きる」という「生」、また、「性別」の「性」どちらも大切にできるよう、医師、産婦人科医師や助産師の協力を得て、教育委員会と連携して行っている事業である。

- ⑥ (質問) 印西市健康ポイント事業を令和 3 年より開始しているが、参加者の数の推移はどうか、また、参加している市民の健康への意識付けにどのようにつながっているか。

(回答) 健康ポイント事業の参加者数は、令和 3 年度が 49 人、4 年度が 76 人、5 年度が 55 人。この事業では運動や栄養などの各項目に目標を設定し、一人一人の健康への意識づけに寄与しているものと考えている。

- ⑦ (質問) 「豊かな自然を活かした健康を支えるまちづくり」の推進を健康づくりの政策の方向性に、とあるが、以降の重点目標に具体的な取り組みについて記載されていないように思える。実際に「豊かな自然を活かした」とは、どのような取り組みか。

(回答) 令和 6 年度の重点目標としては、食育の中で地元の栄養のある野菜を取り入れることや、豊かな自然を活かした「ウォーキングマップ」の配布や、ウォークラリーイベントなどの後援などの取組を進めていきたいと考えている。

《健康と食育に関する調査 アンケート調査結果報告書に対する質問》

- ① (質問) 本調査結果で、全国や千葉県との状況と比較して印西市において課題となる事項はどの項目と考えているか。

(回答) 調査方法が定まっていないため、安易に比較することはできないが、数値だけを見ると、小学校 5 年生の肥満生徒の割合が多いなど、国や県の調査よりもマイナスの評価あるいはプラスの評価になるものがあつたが、大きな差異はなかった。

- ② (質問) 居住地区別の健康診断の受診状況を調査しているが、地区別受診状況の違い等、今後啓発に活用するのか。

(回答) 第 3 次健康いんざい 2 1 骨子案において、健康づくりと地域の繋がりを重

点分野の１つにする予定としている。その分野における取り組みの中で活用をしていくことを検討している。

③（質問）居住地区の区分けがよくわからない。具体的にどの地域なのか。

（回答）下記の表を、調査報告書にも掲載する。

1 北部	木下・木下南・竹袋・別所・宗甫・木下東・平岡・小林・小林北・小林浅間・小林大門下・大森・鹿黒・鹿黒南・亀成・発作・相嶋・浅間前・浦部・浦部村新田・白幡・浦幡新田・高西新田・小倉・和泉・牧の台
2 南部	小倉台・大塚・牧の木戸・木刈・武西学園台・戸神台・中央北・中央南・内野・原山・高花
3 船穂	武西・戸神・船尾・松崎・松崎台・結縁寺・多々羅田・草深・東の原・西の原・原・泉・泉野
4 印旛	瀬戸・山田・平賀・平賀学園台・吉高・萩原・松虫・岩戸・師戸・鎌苅・大廻・造谷・つくりや台・吉田・美瀬・舞姫・若萩
5 本埜	中根・荒野・角田・竜腹寺・惣深新田飛地・滝・物木・笠神・行徳・川向・下曾根・中・萩埜・桜野・押付・佐野屋・和泉屋・甚兵衛・立埜原・松木・中田切・下井・長門屋・酒直ト杭・安食ト杭・将監・本埜小林・滝野・みどり台・牧の原

（議長）： 委員のみなさんからご質問はありますか。

ご質問がないようですので、以上を持ちまして本日の議題及び報告を終了いたします。

令和6年5月31日

印西市健康づくり推進協議会会長 岩谷 由美